

JCDA

合唱の祭典2022

～第22回北とぴあ合唱フェスティバル～

2022. 6/4_(土)～12_(日)

主催：JCDA日本合唱指揮者協会 共催：(公財)北区文化振興財団、北区合唱連盟
後援：東京都北区、東京都北区教育委員会、朝日新聞社、全日本合唱連盟、音楽之友社、カワイ出版、教育芸術社
全音楽譜出版社、Pana Musica、オペラアーツ振興財団、21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」
コーラス・カンパニー、ICOT東京国際合唱機構、全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

ごあいさつ

JCDA日本合唱指揮者協会 理事長

名島啓太



©TAKENAKA HISANORI

このたびは<JCDA合唱の祭典2022～第22回北とびあ合唱フェスティバル～>にご参加、ご来場もしくはご視聴を賜り、誠にありがとうございます。

コロナ禍という未曾有の災厄と、緊迫する世界の情勢は、音楽にも様々な影響を及ぼしておりますが、一人では出来ず、複数の人と人どうしが協力し、人の声を楽器として一つの美しい音楽を作っていく合唱には、地球上の様々な課題を解決してゆくヒントが含まれているように感じています。

そんな合唱音楽を専門とする合唱指揮者は、楽譜という抽象的な記号で示されている音楽から、作品のメッセージや世界観などを読み取り、それをリハーサル場において様々な方法で合唱歌手に伝え共有し、合唱団と共に聴衆の皆様にお届けする、という演奏家です。私たちJCDA日本合唱指揮者協会は、そのような演奏家の集団として、合唱の多彩な魅力をお伝えし、未来の日本の合唱音楽の発展に寄与すべく、昨年に引き続き、オンライン配信や対面の講習会、コンサートホールでの有観客コンサートとそのライブ配信などを駆使して、合唱演奏の本質に迫る様々なイベントを企画いたしました。

NHK全国学校音楽コンクール課題曲の作編曲家が自ら作品について語りつくすオンライン楽曲分析講座、個々に応じて実践的に行う指揮法個人レッスン、指揮者と作曲家がモデル合唱団・ピアニストと共に音楽づくりを行うNコン課題曲講習会、そして日本の合唱界を代表する作曲家10名が自作品を自ら指揮するスペシャルコンサート「作曲家が選び、振るこの一曲!」と、その熱いリハーサル風景のオンライン配信など、いずれも合唱愛好家のみならず、広く、音楽愛好家、演奏家の皆様に大いに楽しみ、大いに学び、お喜びいただける、大変貴重で魅力的な内容であると自負しております。6月4日から12日までの全日程9日間、心ゆくまで合唱音楽を楽しんでいただき、その後の音楽活動に生かしていただければ幸いです。

最後になりますが、本イベント開催にあたり、多大なるご支援ご協力を賜りました北区文化振興財団、北区合唱連盟の皆様、今回の開催にあたりご協力いただきましたすべての皆様はこの場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

北とぴあ合唱フェスティバル2022 ～タイムスケジュール～

	6/4(土)	6/5(日)	6/6(月)	6/7(火)	6/8(水)
	オンライン配信	オンライン配信	オンライン配信	オンライン配信	オンライン配信
10:00 ～ 11:30					
12:30 ～ 14:00		リハーサル配信① 鈴木憲夫 × 浦和高校 グリークラブ			
14:30 ～ 16:00	Nコン作編曲者が語る! オンライン 楽曲分析講座① [小学校の部] 新実徳英	リハーサル配信② 鈴木輝昭 × Chœur Clarté			
16:30 ～ 18:00	Nコン作編曲者が語る! オンライン 楽曲分析講座② [中学校の部] 田中達也	リハーサル配信③ 西村 朗 × Verset versé			
18:30 ～ 20:00	Nコン作編曲者が語る! オンライン 楽曲分析講座③ [高等学校の部] 松本 望	リハーサル配信④ 新実徳英 × あい混声合唱団	19:30～21:00		リハーサル配信⑦ 信長貴富 × 豊島岡女子学園中 学校・高等学校 コーラス部

	6/9(木)	6/10(金)	6/11(土)	6/12(日)
	オンライン配信	対面・非公開	さくらホール	さくらホール
10:00 ～ 11:30		指揮法 個人レッスン		
12:30 ～ 14:00		指揮法 個人レッスン		
14:30 ～ 16:00		指揮法 個人レッスン	NHK全国学校音楽 コンクール 課題曲講習会 [小学校の部] ※ライブ配信有	15:00～ スペシャルコンサート 作曲家が選び、振る この一曲! ※ライブ配信有 (17:30終演予定)
16:30 ～ 18:00		指揮法 個人レッスン	NHK全国学校音楽 コンクール 課題曲講習会 [中学校の部] ※ライブ配信有	16:00～17:30 リハーサル配信⑨ 萩久保和明 × AF合唱団
18:30 ～ 20:00	リハーサル配信⑧ 池辺晋一郎 × 女声合唱団 Hardenbergia		NHK全国学校音楽 コンクール 課題曲講習会 [高等学校の部] ※ライブ配信有	リハーサル配信⑩ 千原英喜 × The Metropolitan Chorus of Tokyo

指揮法個人レッスン

6/10(金) 10:00～18:00 ● 北とぴあ つつじホール リハーサル室

日本の合唱界の第一線で活躍する合唱指揮者による指揮法個人レッスン。日ごろ、合唱の指揮でお悩みの方や、自分の指揮を客観的に見つめ直したい方を対象に、学生指揮者から、学校の先生、合唱団の指揮者として活躍している方まで、さまざまな立場の受講生それぞれの悩みや疑問に直接お答えする、待望の指揮法の個人レッスンです。(非公開)

<講師>



© 中村紋子

相澤直人

指揮者・作曲家。アイザワノーツ合同会社代表、JCDA日本合唱指揮者協会及び東京都合唱連盟副理事長。東京藝術大学及び洗足学園音楽大学講師。「たしかな芸術」「曲が喜ぶ演奏」をモットーとした発信は共感を呼び、「生きた楽典」「eye the 和声」など、演奏表現に活かすための各種セミナーを継続的に開催。好評を博している。現在、あい混声合唱団、女声合唱団 ゆめの在詠などの合唱団で音楽監督を務める他、東京混声合唱団、早稲田大学グリークラブ等多くの団体に招聘される。特に、邦人作品における「ことば」と「音楽」を読み取る演奏に評価を得ており、作曲家やピアニストからの信頼も厚い。



名島啓太

立教大学卒業。在学中に合唱指揮を始め、海外公演や新作初演、客演指揮、講習会講師、コンクール審査員、作曲など多彩な活動を展開している。また全日本合唱コンクール全国大会で金賞受賞するなど、各種コンクールで数多く入賞を果たしている。JCDA日本合唱指揮者協会理事長。北区合唱連盟理事長。北区教育文化功労賞受賞。作曲作品にミサ曲第1番「日本から」、無伴奏混声合唱のための「三つのモテット」(カワイ出版)他がある。



樋本英一

東京藝術大学声楽科及び指揮科卒業。「歌のわかる指揮者」としてオペラ、合唱の分野で活躍。2008年自ら主宰するHi's Opera Companyを旗揚げ「フィガロの結婚」を、また2014年には新国立劇場にて自ら台本を担当した、オペラ「みずす」(石黒晶作曲)世界初演をプロデュース、指揮。合唱では1990年より2007年まで東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを務める。現在、青山学院グリーンハーモニー、同OB、慶応義塾ワグネルソサイエティ女声、東京リーダーターフェル1925各合唱団常任指揮者。これまでに東京藝術大学、昭和音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、東海大学、新国立劇場オペラ研修所、二期会オペラ研修所各講師を務める。現在、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。



古橋富士雄

東京に生まれる。指揮法を斎藤秀雄、作曲を島岡謙、ピアノを宮島敏の各氏に師事。これまでに原信子オペラ研究所の専属ピアニスト、NHK東京児童合唱団常任指揮者(音楽監督)、桐朋学園大学音楽学部講師、東京家政学院短期大学講師、日本合唱指揮者協会理事長、浜松市アクティビティ音楽院音楽監督、NHK「Nコン on the Web」の解説者を歴任する。現在NHK東京児童合唱団名誉指揮者、JCDA日本合唱指揮者協会常任相談役、日本コダイ協会副会長。著書に「合唱のための外国語作品が解る本」「必ず役に立つ合唱の本=日本語作品編」「合唱のための実践練習書」混声編・女声編・男声編がある。



Pf. 野間春美

桐朋学園大学音楽学部音楽科ピアノ専攻を経て同大学研究科を修了。第5回友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて優秀伴奏者賞受賞。第7回日本室内楽コンクール入賞。これまでNHK交響楽団や東京交響楽団のメンバーをはじめ数々のソリストと共演。NHK-FM「土曜リサイタル」「FMリサイタル」BS-TBS「日本名曲アルバム」に出演。コンサートのみならず学校音楽教材などのレコーディングに多数携わる他、コンクール等の共演者として信頼も厚い。新国立オペラ研修所ピアニストを歴任し、現在、桐朋学園大学嘱託演奏員をつとめる。



Pf. 安里佳子

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻を経て同大学研究生修了。第9回横浜国際音楽コンクール2台ピアノ部門第2位。第17回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA大学生部門銅賞。第5回Kクラシックピアノコンクール第3位。現在、合唱団ピアニスト、K音楽コンクール公式伴奏ピアニストをはじめ、アンサンブルにおいて精力的に活動する。桐朋学園大学指揮運営委員会嘱託演奏員。東京音楽大学大学院修士課程鍵盤楽器研究領域に在籍し、伴奏を専門に研鑽を積んでいる。

「とどいてますか」 詞：谷川俊太郎
曲：新実徳英

Nコン作編曲者が語る!
オンライン楽曲分析講座 ①

6/4(土) 14:30~16:00
オンライン開催 (Vimeolによるオンライン配信)



★メッセージ

宇宙の広がりを3分半に盛りこむ、多様性(たようせい)と統一性(とういつせい)を持たせる、小学生ばかりでなく、中高生、大人たちも歌いたくなる、そんな曲にしたいと思ったのです。ボクたちは日々新しい。子どもだって大人だって毎日生まれ変わっている。そんなこともこの歌を歌って感じて欲しいのです。ともあれ、コンクールは子どもたちの祭典だ。皆さんが力いっぱい呼びかけ、優しく歌い、疑問を投げかけ、そして手拍子やら足拍子…全身で宇宙をつかむのです。楽しく、美しく、力強く、歌い上げてください。

● 講師 新実徳英 [作曲家]

東京大学工学部卒、東京藝術大学作曲科卒、同大学院修了。オペラ「白鳥」、管弦楽曲は「風神・雷神」他多数あり国内外で演奏される。「協奏的交響曲エランヴィタル」で尾高賞、他中島健蔵音楽賞、文化庁芸術祭大賞、別宮賞等。器楽、室内楽、邦楽、合唱作品等多数。詩人谷川雁との共作「白いうた青いうた」53曲、和合亮一の詩をエディットした「つぶてソング」12曲は特に広く歌われている。18年NYで開催のミュージック・フロム・ジャパン音楽祭にテーマ作曲家として招かれ新作を含む作品個展が好評を博す。桐朋学園大学院大学教授、東京音楽大学客員教授を歴任。

新実徳英オフィシャルwebサイト: <https://tokuhideniimi.com/> 最新刊「生きることが音楽!」(音楽之友社)

「Replay」 詞：北村匠海 曲：西尾芳彦&DISH//
編曲：田中達也

Nコン作編曲者が語る!
オンライン楽曲分析講座 ②

6/4(土) 16:30~18:00
オンライン開催
(Zoomウェビナーによるライブストリーミング配信)



★メッセージ

中学校の部の課題曲にこのようなスタイルが定着してすでに10年以上、その中で合唱という媒体でポピュラー音楽を歌うためのさまざまな試みがなされてきました。今年の課題曲「Replay」も、メロディラインとそれに内包された力強いリズム・ロック的なコード進行・セクションごとの明確なキャラクターなど、魅力的な要素をリスペクトしながら、合唱ならではの遊びを味わうことができるように編曲者として想いを込め、さまざまな工夫を施しました。楽曲の構造やコード進行とその機能、ビートの処理…などポピュラー音楽特有の内容から、それらを実際の歌う現場でどのように「音楽」として立ち上げていくかといったところまで、この講習会をいろいろな視点や気づきのきっかけにさせていただければと思っています。そこから課題曲にとどまらず、普段の授業などでも多く取り上げられているポピュラースタイルの作品や編曲作品を歌うときのヒントにもなれば嬉しいです。

● 講師 田中達也 [作曲家]

東京都生まれ。東京学芸大学中等教育教員養成課程音楽専攻卒業、同大学院教育学研究科音楽教育専攻(音楽コース・作曲領域)修了。2008年、メソソプラノとピアノのための「夢みものは」で第15回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門(中田喜直賞の部)入選。同年、混声合唱とピアノのための組曲「夏の断崖」で第19回朝日作曲賞佳作。在学中より合唱作品を中心とする作曲活動を行い、主な作品に「声が世界を抱きしめます」「レモンイエローの夏」「わたしの水平線」など。ポピュラー音楽の合唱編曲作品も数多く、これまでに100曲以上が出版された。また、各地にてコンクール審査員や講習会・合唱祭の講師を務めるほか、自作を中心に合唱指導も行っている。

NHK全国学校音楽コンクール
課題曲講習会

6/11(土) 14:30~16:00
北とぴあ さくらホール
<有観客+ライブストリーミング配信>



笹口圭吾 (合唱指揮者)

大東文化大学文学部卒業。洗足学園音楽大学附属指揮研究所修了。指揮法を秋山和慶・河地良智、合唱指揮を清水敬一・清水昭、ピアノを島田玲子・橋本智紗の各氏に師事。関東各地で15合唱団の常任指揮者を任される。創価学会しなの合唱団を指揮し、全日本合唱コンクール全国大会にて度重なる金賞受賞。江東少年少女合唱団の長年の指導により、江東区文化コミュニティ財団功労賞受賞。民音主催「はじめての合唱指揮ワークショップ」をはじめ、

各地での指導者講習会講師、合唱祭講師を務めるほか、現代作品の初演も積極的に行っている。江東区文化センター講師、JCDA日本合唱指揮者協会理事、並びに事務局次長。



奥田 和 (Pf.)

玉川大学文学部芸術学科音楽専攻首席卒業。ピアノを田中瑤子、石田一志、紅林こすえ氏に師事。佐々木成子、ライナー・ホフマン両氏にドイツ歌曲、塚田佳男氏に日本歌曲、壺井一歩氏に楽曲分析を学ぶ。これまでに、ピクチャー、コロムビア等の合唱CDの録音に参加。合唱や歌曲との共演、オペラの稽古ピアニスト等、歌のアンサンブルを中心に演奏活動を行う。瑞穂の会会員。江東区文化センター講座講師。玉川大学芸術学部パフォーミング・アーツ学科学非常勤実技指導員。2018年、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団より功労賞を受賞。

ジュニアコーラス フェアリーズ (事前指導: 森本真由美)

2002年、千葉市幕張に結成。地域のイベントや演奏会への出演、教科書教材レコーディングなどの他、2010年にはヒューストン市で親善友好コンサートを開催するなど国際的な活動も展開している。2021年に「第3回 東京国際合唱コンクール」において、総合1位グランプリ、文部科学大臣賞、児童合唱部門J、Sの2部門で1位金賞と最優秀課題曲賞を受賞という快挙を成し遂げる。2022年千葉県合唱アンサンブルコンテスト金賞(13年連続、14回目)、第11回関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞(4回)、千葉市教育・文化・スポーツ功労者賞、2020年千葉市芸術文化新人賞受賞 他受賞多数。



NHK全国学校音楽コンクール
課題曲講習会

6/11(土) 16:30~18:00
北とぴあ さくらホール
<有観客+ライブストリーミング配信>



清水 昭 (合唱指揮者)

1953年生まれ。早稲田大学高等学院を経て早稲田大学理工学部卒業。在学中より音楽の道を志す。指揮法を手塚幸紀、合唱指揮を関屋晋、ウグリン・ガーボル、ピアノを三井光子の各氏に師事。現在は首都圏を中心におよそ20の合唱団の指揮者として活動する他、客演指揮、講習会講師、各地合唱コンクールの審査等を務めている。また、ポピュラー音楽の合唱編曲を数多く手掛け、自作のピアノ演奏で合唱団と共演する機会も多い。1990年のハンガリーを皮切りにたびたびヨーロッパ各国を訪れる一方、来日合唱団を迎えるコンサートを企画実行する等、合唱を通じた国際交流活動に力を注ぐ。日本合唱指揮者協会理事。東京都合唱連盟個人理事。合唱人集団音楽樹会員。かながわ合唱指揮者クラブ会員。

ハンガリーを皮切りにたびたびヨーロッパ各国を訪れる一方、来日合唱団を迎えるコンサートを企画実行する等、合唱を通じた国際交流活動に力を注ぐ。日本合唱指揮者協会理事。東京都合唱連盟個人理事。合唱人集団音楽樹会員。かながわ合唱指揮者クラブ会員。



村田智佳子 (Pf.)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。モスクワ音楽院大学院修了。国際コンクールにてピアノソロ・デュオともに複数受賞。ソロ、デュオ、伴奏者としてヨーロッパ、中国・シンガポール・ニューヨーク・モスクワ等多くの演奏活動を行い、現在は合唱を中心とした伴奏者としての活動が広がる。また、昭和音楽大学附属音楽教室講師を経て、後進の指導にも力を注ぎ、公開レッスン等のロシア語通訳も行う。

ジュニアコーラス フェアリーズ (事前指導: 森本真由美)

2002年、千葉市幕張に結成。地域のイベントや演奏会への出演、教科書教材レコーディングなどの他、2010年にはヒューストン市で親善友好コンサートを開催するなど国際的な活動も展開している。2021年に「第3回 東京国際合唱コンクール」において、総合1位グランプリ、文部科学大臣賞、児童合唱部門J、Sの2部門で1位金賞と最優秀課題曲賞を受賞という快挙を成し遂げる。2022年千葉県合唱アンサンブルコンテスト金賞(13年連続、14回目)、第11回関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞(4回)、千葉市教育・文化・スポーツ功労者賞、2020年千葉市芸術文化新人賞受賞 他受賞多数。



「無音が聴こえる」 詞：住野よる
曲：松本 望

Nコン作編曲者が語る！
オンライン楽曲分析講座 ③

6/4(土) 18:30～20:00

オンライン開催
(Zoomウェビナーによるライブストリーミング配信)



★メッセージ

今年のNコン高等学校の部の課題曲として作曲した「無音が聴こえる」は、住野よるさんのやさしく自由な詩の世界に、流動性のある拍子や調性、和声の揺らぎなどで呼応した曲になっています。今回のフェスティバルでは、オンラインによる楽曲分析講座と、モデル合唱団の演奏と共にを行う講習会の2つの課題曲講習が行われます。講習で触れることが、この曲に取り組まれる皆さんの演奏のヒントとなれば嬉しいですが、「作曲者自身がこう言ったから…」と、内容を無条件に受け入れてほしくはありません。今回の講習が、楽譜への気づきや各々の曲の解釈の深化に繋がっていったなら、と思います。譜面に書かれていることをよく咀嚼した上での“自由な演奏”を沢山聴けることを願います。

● 講師 松本 望 [作曲家]

北海道出身。東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業。2003年東京文化会館主催合唱作品作曲コンクール最優秀賞。受賞作をはじめ自作曲集、編曲集等の出版多数。2007年第4回リヨン国際室内楽コンクール第1位。2009年第55回マリア・カナルス国際音楽コンクール・ピアノトリオ部門第1位。これまで国内外のアーティストとの共演を重ね、CDレコーディング等に多数参加のほか、アンサンブルピアノのための入門書『合唱エクササイズ・ピアニスト編(カワイ出版)』を2017年よりシリーズで刊行中。現在、国立音楽大学ピアノ科、洗足学園音楽大学作曲科、各非常勤講師。東京藝術大学弦楽科伴奏助手。

NHK全国学校音楽コンクール
課題曲講習会

6/11(土) 18:30～20:00

北とぴあ さくらホール

<有観客+ライブストリーミング配信>



藤井宏樹 (合唱指揮者)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮を黒岩英臣氏に師事。現在、全12団体を有する『樹の会』、Ensemble PVDの音楽監督を務める。国内外の合唱コンクールでは高い評価を得て、海外に招聘される機会も多く、近年ではスペイン・トロサ国際合唱コンクール、全日本合唱コンクール等の審査員、合唱講習会の講師、委嘱活動、Tokyo Cantat等の企画も積極的に行っている。

21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」代表幹事。JCDA日本合唱指揮者協会会員。武蔵野音楽大学非常勤講師。



浅井道子 (Pf.)

都立芸術高校(現・都立総合芸術)音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。独唱、合唱、室内楽における共演者として さまざまな演奏会、放送に出演。『Miyoshiピアノメソッド』(ビクターエンタテインメント)をはじめとして録音にも多数参加している。ソロコンサートのほかに東京文化会館主催『今日の作曲家シリーズ』、MUSIC TODAY等で日本の現代ピアノ作品を演奏した。



VOCE ARMONICA (事前指導：黒川和伸)

千葉県内の中高合唱経験者を中心に2007年10月に発足。団名はイタリア語で「調和した声」の意。現在は千葉県のほか、首都圏から約30名が集まり活動している。コンクールへの出場と定期演奏会の開催を活動の柱としており、全日本合唱コンクール全国大会において4大会連続金賞を受賞(2017-2021)、第4回および第6回定期演奏会で千原英喜氏の作品を初演、2022年5月の「千原英喜・個展」では新作「女殺油地獄」を初演している。また、海外の合唱団との交流も行っており、2016年7月にはアメリカの作曲家 Ariel Quintana氏とジョイントコンサートを開催した。

スペシャルコンサート

作曲家が選び、振るこの一曲！

～作曲者によるリハーサル付き～

有観客+ライブストリーミング配信

日本の合唱界をリードする10名の作曲家に選んでいた「今歌ってほしい一曲」を、事前の90分間のリハーサルを経て、コンサートでは作曲者ご本人の指揮で演奏してもらい、豪華な夢のコンサートです！

コロナ禍で、文化の継承の難しさを感じる日々ですが、いまこの時代を生きている作曲家の先生とともに、音楽を創造したい、そこからさまざまな学びを得たいとの想いで、企画させていただきました。

どうぞ、お楽しみください！

6/12(日) 15時開演 ●北とぴあ さくらホール

●リハーサル配信スケジュール

6/5(日)	12:30-14:00配信	鈴木憲夫×浦和高校グリークラブ
6/5(日)	14:30-16:00配信	鈴木輝昭×Chœur Clarité
6/5(日)	16:30-18:00配信	西村 朗×Verset versé
6/5(日)	18:30-20:00配信	新実徳英×あい混声合唱団
6/6(月)	19:30-21:00配信	尾形敏幸×杉並学院菊華女声合唱団
6/7(火)	19:30-21:00配信	高嶋みどり×混声合唱団鈴優会
6/8(水)	19:30-21:00配信	信長貴富×豊島岡女子学園中学校・高等学校コーラス部
6/9(木)	19:30-21:00配信	池辺晋一郎×女声合唱団 Hardenbergia
6/11(土)	16:00-17:30ライブ配信	荻久保和明×AF合唱団
6/11(土)	18:30-20:00ライブ配信	千原英喜×The Metropolitan Chorus of Tokyo

池辺晋一郎 × 女声合唱団 Hardenbergia

● 池辺晋一郎 作曲
 女声合唱曲集『三つの不思議な仕事』より「空みがき」「夢売り」（詩：池澤夏樹）
 指揮 池辺晋一郎／Pf. 五十嵐 稔
 女声合唱団 Hardenbergia（事前指導：藤原規生）

荻久保和明 × AF合唱団

● 荻久保和明 作曲
 混声合唱とピアノのための組曲『しゅうりえんえん』より
 「ゆうきすいぎん」（詩：石牟礼道子）
 指揮 荻久保和明／Pf. 渡辺絢星
 AF合唱団（事前指導：石橋遼太郎）

尾形敏幸 × 杉並学院菊華女声合唱団

● 尾形敏幸 作曲
 女声合唱とピアノのための『序の歌』（詩：立原道造）
 指揮 尾形敏幸／Pf. 平林未海
 杉並学院菊華女声合唱団（事前指導：瀨上貴美子）

鈴木憲夫 × 浦和高校グリークラブ

● 鈴木憲夫 作曲
 男声合唱組曲『永久ニ』より「永久ニ トコシナニ」（詩：鈴木憲夫）
 指揮 鈴木憲夫／Pf. 二宮万莉・白取晃司
 浦和高校グリークラブ（事前指導：櫻井 寛）

信長貴富 × 豊島岡女子学園中学校・高等学校コーラス部

● 信長貴富 作曲
 「合唱」（詩：谷川俊太郎）
 「合唱 -もうひとつの-」（詩：谷川俊太郎）＜初演＞
 指揮 信長貴富／Pf. 伊藤友香
 豊島岡女子学園中学校・高等学校コーラス部（事前指導：柴田由美）

西村 朗 × Verset versé

● 西村 朗 作曲
 混声合唱とピアノのための『水の祈禱』より「第一の祈禱」（詩：陀羅尼）
 指揮 西村 朗／Pf. 薄木 葵
 Verset versé（事前指導：柳嶋耕太）

高嶋みどり × 混声合唱団鈴優会

● 高嶋みどり 作曲
 無伴奏混声合唱組曲『若者たちの悲歌』より「若者たちの悲歌」（詩：谷川俊太郎）
 指揮 高嶋みどり
 混声合唱団鈴優会（事前指導：名島啓太）

鈴木輝昭 × Chœur Clarté

● 鈴木輝昭 作曲
 混声合唱とピアノのための『もうひとつのかお』より「あなた」（詩：谷川俊太郎）
 指揮 鈴木輝昭
 Chœur Clarté（事前指導：山宮篤子）

新実徳英 × あい混声合唱団

● 新実徳英 作曲
 混声合唱とピアノのための『つぶてソング集』より
 「あなたはどこに」「なぜ生きる」「重なり合う手と手」（詩：和合亮一）
 指揮 新実徳英／Pf. 河野絃子
 あい混声合唱団（事前指導：相澤直人）

千原英喜 × The Metropolitan Chorus of Tokyo

● 千原英喜 作曲
 混声合唱のための『おらしょ』より「第2楽章」
 指揮 千原英喜
 The Metropolitan Chorus of Tokyo（事前指導：松下 耕）

————— 休憩 —————



©東京オペラシティ文化財団
撮影：武藤章

池辺晋一郎

Shin-ichiro IKEBE

1943年水戸市生。71年東京芸大大学院修了。66年日本音楽コンクール第1位。その後音楽之友社賞、ザルツブルクTVオペラ祭優秀賞、イタリア放送協会賞3度、国際エミー賞、芸術祭優秀賞4度、尾高賞3度、毎日映画コンクール音楽賞3度、日本アカデミー賞優秀音楽賞9度、放送文化賞、JXTG音楽賞等。紫綬褒章、文化功労者、旭日中綬章。交響曲10曲、オペラ「鹿鳴館」「高野聖」など11作。映画「影武者」「楡山節考」「うなぎ」TV「滯つくし」「独眼竜政宗」他。演劇音楽約500本。著者多数。東京音楽大学名誉教授、音楽ホール、音楽祭等の監督など。09年3月まで13年間NHKTV「N響アワー」、21年3月まで6年間「N響ザ・レジェンド」出演。



★メッセージ

今や作家として日本の中核にいる池澤夏樹とは、たがいに20代からの親友だ。大規模なカンタータから義太夫節を含む現代作品、合唱作品、校歌のたぐいまで、共作を重ねてきている。アテネに住んでいた彼を訪ね、エーゲ海の島々をともに旅したのは1977年9月。真っ青な空と海を眺めながら、いわば軽いタッチの親しみやすい合唱曲を作ろうと話し合った。現実にはない仕事に特化した明るい3篇の詩を受け取り、かなり早いペースで作曲した。カワイから上梓（「6つの子守歌」との合本）。以後東混や神戸市混声などプロも含め多くの合唱団に歌われてきたが、あるとき新潟県で活発な音楽活動を展開する旧知の田辺伸五郎さんから女声版編作の依頼。約40年前の作に手を入れることになり、今度はかなり遅いペースになったが何とか脱稿。2018年にカワイから上梓された。残念ながら今年1月に逝去されてしまった田辺さんに届ける気持ちで、きょうの演奏に臨みたい。



女声合唱団 Hardenbergia

女声合唱団Hardenbergiaは、合唱指揮者、藤原規生氏が国立音楽大学附属高等学校音楽科で合唱授業を受け持った生徒達を中心に、団員全員が現役音大生で構成された新しい合唱団である。合唱をより専門的な観点から捉え、それぞれが持っている豊かな音楽性を互いに尊重し合い、メンバー同士で一つの音楽を作り上げている。高校時代を共にした約30名のメンバーが音楽を通して再び集まれたことを誇りに思い、「奇跡的な再会」という花言葉を持つ「ハーデンベルギア」を合唱団名に起用。



©中村年孝

藤原規生 (事前指導)

国立音楽大学声楽学科卒業。〈カルメン〉〈魔笛〉〈リゴレット〉など多数のオペラに出演。合唱指揮者として〈第九〉を始め、多数のオーケストラ付き作品に関わる。ヴァチカン国際音楽祭では2017年より3年連続、イルミナートフィルハーモニーの合唱指揮を務め、2019年にはサンビエトロ大聖堂での〈ローマ法王代理ミサ〉で、グレゴリオ聖歌「オラショ」の指揮を務めた。現在、洗足こども短期大学、国立音楽大学附属高等学校にて非常勤講師、一般財団法人オペラアーツ振興財団事務局長、日本合唱指揮者協会副理事長。



五十嵐 稔 (Pf.)

国立音楽大学附属中学高等学校を経て国立音楽大学卒業、同大学院修了。これまでに東京にて5回のリサイタルを開催。ソロ活動の他、数多くの演奏家・合唱団と共演するなどアンサンブルピアニストとしての信頼も厚い。国立音楽大学大学院オペラ科・リト科ピアニストを経て94～96年ウィーンへ留学し伴奏法を中心に研究する。現在、国立音楽大学附属中学高等学校副校長。日本演奏連盟会員。一般財団法人オペラアーツ振興財団評議員。

萩久保和明

Kazuaki OGIKUBO

東京藝術大学、同大学院作曲研究科修了。第45回毎日・NHK音楽コンクール作曲部門第1位。作曲を島岡譲、矢代秋雄、野田暉行、間宮芳生の各氏に師事。昭和53年度文化庁芸術祭参加作品として委嘱された混声合唱曲「季節へのまなざし」で高い評価を受ける。宗左近の詩による「縄文」シリーズはじめ、「IN TERRA PAX」など多くの優れた作品がある。校歌の作品多数。合唱指導の分野でも第43回東京六大学合唱連盟定期演奏会の6校合同演奏会で自作の男声合唱曲「縄文“愛”」を指揮する等、多くの合唱団の客員指揮者として活躍。的確な合唱指導で高い評価を得ている。教育活動でも多くの優秀な門下生を輩出する等、わが国の合唱界を代表する作曲家兼指揮者である。東邦音楽大学特任教授。



★メッセージ

オリジナルは児童合唱曲で、新座少年少女合唱団の委嘱により作品初演、混声版編曲はその数年後に武蔵野合唱団の委嘱により編曲初演された。いずれも作曲者の指揮による。水俣病を告発するために書いたものではないが、社会的なレッテルを持たれた気がする。忘れてしまいたいことと、忘れてはいけないことは別だと思っている。それを伝えることも音楽の役割のひとつだと信じているので。



AF合唱団

2019年設立の混声合唱団。首都圏の20代社会人を中心に構成され、団員それぞれが一緒に歌いたいお友達を呼び形規模を広げている。これまでに、千葉県合唱コンクール金賞、千葉県合唱アンサンブルコンテスト金賞（1位・朝日新聞社賞）、「春こん」金賞（1位・東京都合唱連盟理事長賞）、関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞（1位・関東支部長賞）などを受賞。



石橋遼太郎 (事前指導)

1994年生まれ27歳。千葉大学法経学部経済学科卒業。2018年、銀行員として勤務しながら指揮者としての活動を始める。近年はAF合唱団の指揮者として千葉県合唱コンクール金賞、関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞（1位・関東支部長賞）などを受賞する他、様々な合唱団を指揮、レッスンするなど活動の場を広げている。



渡辺絢星 (Pf.)

5年のハンガリー留学を終え2021年秋に完全帰国。留学先のブダペストから持ち帰った1912年製ベーゼンドルファーを相棒に、「ふるいはあたらしい」をコンセプトに、当時の音だからこそ伝えられる音楽を共有する活動を行う。帰国を機に伴奏活動も再開し、主に声楽家や合唱団との共演を軸に、プロやアマチュア問わず共に音楽を作る魅力を演奏を通して伝える。Stipendium Hungaricum奨学金生としてハンガリー国立リスト音楽院に在籍し、同大学院修士課程修了。これまでにピアノをナードル・ジュルジイ、パール・ダーヴィド、千野宜大、川田健太郎、大西真由子、有森直樹、外口弘子、各氏のもとで研鑽を積んだ。



尾形敏幸

Toshiyuki OGATA

東京学芸大学大学院作曲指揮法講座修了。笹川賞第1位、現朝日作曲賞、文化庁舞台芸術創作奨励特別賞その他を受賞。NHK全国学校音楽コンクール高等学校課題曲、全日本合唱コンクール選抜課題曲2回。全国各地の団体、学校より合唱委嘱作品多数。またオペラから吹奏楽、室内楽から邦楽器に亘る委嘱も手掛け作風も幅広い。楽譜出版は音楽之友社、カワイ出版、全音より、音源はCD全集「21世紀の合唱名曲選」「日本の合唱まるかじり」などに収録。コンクール審査員、校歌などの社会活動のほか音楽大学・総合大学における「現代音楽の解体新書」「和声学」「作曲法」等の講義。主な合唱作品：混声「5つのギリシヤ的抒情詩」「風に寄せて」／女声「10のPOPSONGS—いのちのわけ」「光の生誕」等

★メッセージ

自選のうえで自振りせよ、との嬉しくもキビシイ企画。少なからず合唱作品は書いて来ましたが、せっかくの機会ですので比較的新しい『序の歌』（2015初演）を選ばせて頂きました。表層は美しく柔らかいとされる14行詩の持つ二律背反、つまり光と闇の「闇」の部分も深いと感じ、その両者を音楽化してみたく思いました。詩句と詩句との連続や分断が生む音楽の緊張と弛緩の関係など、感情心理学的にも興味は尽きません。具体的には「しづかな歌よ」旋律Aは、反復することで鑑賞者への記憶の定着を望み、「夕映えが」旋律Bでは無調性による音楽的効果の期待、さらに「そして高まって」旋律Cでは、接続詞一つを発端に起伏や高揚などの持続を生成する試みです。とはいえ楽曲全体を通して、皆さまの心と共振できる要素がどれだけあるか、に尽きますね。終わりに、事前指導頂きました洲上先生、演奏下さる杉並学院菊華女声合唱団に心より感謝申し上げます。



杉並学院菊華女声合唱団

2000年、共学化に伴い菊華高等学校から杉並学院高等学校へ校名が変更、母校の名前を残したいと合唱部の卒業生が中心となり結成された「菊華アンサンブル」と、歌の大好きな生徒の集まった「杉並学院高等学校合唱部」。普段はそれぞれに活動をしている姉妹合唱団が、合唱部顧問である洲上貴美子氏のもと1つとなり「杉並学院菊華女声合唱団」を結成。2019年東京都合唱コンクール、全日本合唱コンクール全国大会にて金賞を受賞。



洲上貴美子 (事前指導)

国立音楽大学声楽科卒業。杉並学院高等学校教諭。日本合唱指揮者協会会員。オーストラリア、イタリア、スペイン等、5つの国際コンクールで1・2・3位受賞。イタリア・セグッツイ国際合唱コンクールでは4部門で第1位、その年の総合グランプリ大賞受賞し、'09年にはフランスの欧州グランドチャンピオン大会でファイナリスト賞受賞する。同年、セグッツイ国際合唱コンクールの国際審査員も務める。NHK全国学校音楽コンクール2回全国優勝。全日本合唱コンクール全国大会金賞等、数々の実績を残している。



平林未海 (Pf.)

目黒区立油面小学校にて合唱団に在籍し、合唱の楽しさを知ったことをきっかけに、杉並学院高等学校へ進学。合唱部に所属し伴奏にも興味を持ち、本格的に勉強をはじめ。日本大学芸術学部音楽学科ピアノコース卒業。成績優秀者に選出され、日本大学芸術学部管弦楽団と共演、卒業演奏会に出演。ピアノを田坂久和、楊麗貞、脇岡洋平の各氏に師事。現在、日本大学大学院芸術学研究科音楽芸術専攻器楽コース(ピアノ)博士前期課程1年に在籍。



鈴木憲夫

Norio SUZUKI

東北学院大学法律学部卒業後、東京音楽大学作曲研究科で作曲を伊福部昭氏、指揮を山田一雄氏に師事。作品は合唱曲をはじめとして多数。刊行数も百点を超える。東京シティアフィル、日本合唱協会などで自作を指揮、客演指揮は全国各地に及ぶ。NHK音楽コンクールの審査員などを務める。これまでに「国民文化祭」などで童謡部門・総合プロデューサー、海外ではウィーン・楽友協会大ホール及び国立歌劇場など7か国10公演において音楽監督・自作を指揮。また「音楽ほほえみ基金」を創設。全国各地の老人介護施設などにCD寄贈の活動を進めている。2024年より「レクイエム」の世界ツアーが予定されている。

★メッセージ

「永久ニートコシナニー」は混声合唱曲として01年に発表されました。長野県諏訪合唱団からの委嘱でした。そして13年、四国男声合唱フェスティバルの委嘱で男声版が完成しました。縄文時代をテーマにした「祈祷《きとう》天頌《てんしょう》」を87年に作曲しています。この作品でも自ら詩を書いています。「祈祷天頌」で私は自身の内で古代へのオマージュは完結したと思っていました。しかし、古代に想いを馳せ、初原始的な世界を想い描くことへの強い憧憬は、まだ失せてはいませんでした。テキストは日本書紀を基に古語を用いています。今では馴染みのない言葉です。が、それら古語の中に古代の人々の敬虔な祈り、古代の人々の声が息づいています。それは根本的に今の私たちの「思い」「祈り」にも通じるものがあります。この作品はそれら古代を描いたひとつの風景として、今の世に照らされ、何かしら心に触れるものがあるとするなら、作家として本望とするところであります。



埼玉県立浦和高等学校グリークラブ

県内でも有数の伝統ある高校男声合唱団。生徒主体による運営とさまざまな演奏や活動へのチャレンジ精神を持ち味としている。定期演奏会、コンクール、アンサンブルコンテスト、高等学校男声合唱団合同演奏会などのほか、オペラへの出演やアニメ収録等へも参加。NHK番組「沼にハマってきいてみた」では活動の様子が放映された。2017年度全日本合唱コンクール文部科学大臣賞受賞。



櫻井 寛 (事前指導)

埼玉大学教育学部音楽教育専攻卒業、神戸大学大学院教育学研究科修了。現在、埼玉県立浦和高等学校に勤務。これまでに、現任校グリークラブや埼玉県立熊谷高校音楽部などを指導。卒業生には合唱をはじめ音楽関連分野で活躍する人材も多い。合唱指揮以外に、ピアノ演奏でも数々の演奏会に出演。高等学校音楽教科書の執筆・編集にも携わっている。平成24年度文部科学大臣優秀教員表彰。



二宮万莉 (Pf.)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学院鍵盤楽器研究領域(伴奏)修了。ザルツブルク=モーツァルト室内楽コンクール第三位受賞。埼玉交響楽団、サンオームオーケストラとピアノ協奏曲を共演する。ピティナ・ピアノステップアドバイザー。東京音楽大学同大学院非常勤伴奏助手。アーツブレッド所属。



白取晃司 (Pf.)

東京音楽大学付属高校を経て同大学卒業。同大学院鍵盤楽器研究領域(伴奏)修了。第22回日本演奏家コンクール声楽部門において伴奏者賞を受賞。二ス夏期国際講習会に参加する等、渡仏を重ねフランス歌曲の分野を中心に研鑽を積む。これまでに多くの声楽リサイタルでの共演ピアニストを務める、オペラ公演音楽スタッフ、声楽コンクール公式伴奏者を務める。現在、東京音楽大学非常勤講師、洗足学園音楽大学伴奏助手。

信長貴富

Takatomi NOBUNAGA

1994年上智大学文学部教育学科卒業。1994・95・99年朝日作曲賞（合唱曲）、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選（室内楽曲）、2001年日本音楽コンクール作曲部門（室内楽曲）第2位などを受賞。多数の合唱曲のほか、歌曲、器楽作品など多岐にわたる。「信長貴富歌曲集」「こどものためのピアノ曲集 スタートダッシュ」ほか出版多数。近年ではオーケストラや器楽アンサンブルを伴う合唱作品や、オペラなどの舞台作品も手がけている。主な作品に《新しい歌》（合唱）、《Fragments～特攻隊戦死者の手記による～》（独唱／合唱）、《マリimba協奏曲 混線するドルフィン・ソナー》、《オペラ 山と海猫》（加藤直台本）などがある。



© 山口敦

★メッセージ

広島県合唱連盟の60周年を記念する曲として2021年に作曲したのが「合唱」（詩=谷川俊太郎）です。詩は委嘱者である県連からご提示いただいたものでした。ひとり、ふたり、みんな、そして宇宙へと広がっていく詩の構成は即座に音楽を想起させるもので、作曲にあたって迷いはありませんでした。ところが、同時に2つの異なるスタイルの曲が頭に浮かんでしまい、そのどちらを採るかという迷いが生じました。ある程度のところまで作曲してみてもどちらを採るか決めようと音符を書き進めたところ、両方のバージョンがほぼ完成の段階まで出来上がってしまったのでした。初演は大人気で歌われる計画でしたので、壮大なスタイルの版を採用し初演に至りました。それが既に出版されている「合唱」です。それで、もう一つの採用しなかった版（アップテンポの生き生きとしたスタイル）を、今日の間をお借りして初演してしまおうと思いついた次第です。コロナ禍の時代に作曲し、「みんな」で共有できることに感謝しつつ。



豊島岡女子学園中学校・高等学校コーラス部

豊島岡女子学園中学校・高等学校は、豊島区・東池袋にある中高一貫の女子校。コーラス部は中高合わせて約100名の部員で活動している。主な活動は文化祭でのミュージカル上演や合唱発表、コンクール出場。これまで中高合わせてNHK全国学校音楽コンクールや全日本合唱コンクールにおいて34回全国大会へ進み、金賞を11回受賞、うち内閣総理大臣賞を4回受賞している。2012年、豊島区内の中学校では初となる豊島区文化功労賞を受賞。



柴田由美（事前指導）

大分県立芸術短期大学付属緑丘高等学校音楽科から武蔵野音楽大学音楽教育学科に進む。声楽を土谷正公、一ノ瀬幸子の各氏に、ピアノを北川暁子氏に師事。大学卒業後、豊島岡女子学園中学校・高等学校の音楽科教諭及びコーラス部顧問・指揮者として指導を続けている。元東京都合唱連盟副理事長。JCDA日本合唱指揮者協会会員。



伊藤友香（Pf.）

長野県小諸高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学演奏学科ピアノ科卒業。ピアノを花岡千春、廻由美子の各氏に師事。卒業後NHK東京児童合唱団にて指導アシスタント・常任ピアニストを務めた。国内外の演奏会や各種メディア出演、レコーディング、合唱曲の初演を行うなど、アンサンブルピアニストとして活動している。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」仙川教室非常勤講師。

西村 朗

Akira NISHIMURA

作曲家。東京藝術大学大学院修了。1987年作曲の「2台のピアノと管弦楽のヘテロフォニー」を創作の起点とし、以後、アジアの思想を背景とした作品を内外で多数発表。エリザベート国際音楽コンクール大賞、ルイジ・ダルラピッコラ作曲賞、サントリー音楽賞、毎日芸術賞、尾高賞（6回）などを受賞し、2013年秋には紫綬褒章を受章。2019年に大野和士指揮で初演されたオペラ「紫苑物語」（新国立劇場委嘱作品）は、海外でも高い評価を受けている。現在、東京音楽大学教授、いずみシンフォニエッタ大阪・音楽監督、草津国際音楽祭・音楽監督。



©東京オペラシティ文化財団
撮影：大窪道治

★メッセージ

東京混声合唱団委嘱作品「水の祈祷～混声合唱とピアノのための～（1994）」。「水と緑のある二つの陀羅尼（ダラニ）をテキストとする祈祷曲。1994年春、私はインドを旅行し、ガンジス河流域の聖地バラナシに滞在する機会を得た。夕刻近く、ガンジスに小舟を漕ぎ出し、河上より、ガート（沐浴場）の彼方に沈みゆく赤光を拝し、やがて星々が瞬くもとで、河岸に身を置きつつ、人の死についての沈思静観の時を持つことができた。印象際立つあの浄火、ガンジスの悠久の流れ、清冽なる水の感触、星々の光、そして祈祷の声……。この曲の起草と創意には、その体験から得たものが多少なりとも関わっているように思える。

「第一の祈祷」十甘露咒（阿弥陀如来大咒）をテキストとする。甘露（amrita アムリタ）が咒中に十回登場するところから、十甘露咒の名がある。甘露とは古代インドの甘い霊水であり、「リグ・ヴェーダ」によれば不死の霊酒である。のち甘露は、私の教えのたとえともなった。阿弥陀（無量寿・無量光如来）は西方におわす光の如来。この咒（陀羅尼）では、大宇宙大自然の力と阿弥陀如来の徳が同一に扱われ賛美されている。死者を極楽世界の上品上生、菩薩へと導く咒である。6声部の混声合唱と、顫音（trill）震音（tremolo）奏法を多く含むピアノとのヘテロフォニー曲。



Verset versé

本演奏会のために特別編成された声楽アンサンブル。団体名は「注がれる詩句」の意味。



柳嶋耕太（事前指導）

ドイツ・ザール音楽大学指揮科卒業。ドイツ音楽評議会・指揮者フォーラム研究員として、ベルリン放送合唱団をはじめとするドイツ国内各地の著名合唱団を指揮した。現在vocalconsort initium、室内合唱団vox alius、横浜合唱協会、Chor OBANDESなど多数の合唱団で常任指揮を務める。合唱指揮をゲオルク・グリユン、指揮を上岡敏之の各氏に師事。



薄木 葵（Pf.）

1997年宮城県生まれ。常盤木学園高等学校音楽科及び上野学園大学演奏家コースを卒業。作曲を喜久邦博・大久保みどり、ソルフェージュを石川浩、ピアノを伊東ゆかり・植田克己・星子知美、声楽を針生美智子・佐藤拓、合唱指導を中村拓紀の各氏に師事。第62回全東北コンクール第2位。ピアニスト、合唱指揮者として多方面で活躍。



高嶋みどり

Midori TAKASHIMA

東京芸術大学作曲科、同大学院修士課程修了。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、会員。

合唱曲：＜青いメッセージ＞混声／男声 ＜風に鳴る笛＞混声
＜あなたが歌えと命じるときに＞無伴奏女声 ＜感傷的な三つの奏鳴曲＞混声／男声 ＜愛のとき・白鳥＞無伴奏混声・女声 ＜秋・相聞＞無伴奏女声 ＜Hymn～夜の女神ラトリーに捧ぐ＞無伴奏女声 合唱ミュージカル＜夢にこだまする～あるボスザルの物語＞NHK全国学校音楽コンクール課題曲、全日本合唱連盟課題曲、東京国際合唱コンクール課題曲 等
CD：＜誰かが時を…＞ ＜白鳥＞ ＜マウイの風＞ ＜風の影・樹の影＞ 等



★メッセージ

医学が進み、通信や交通が整備され、豊かな食料、清潔な環境が整っても、人がこちよく生きていける世の中となるには、まだ道のりは遠いように思えます。柔軟な発想力で別の視点から人間を見つめ直していかなければ、その道は見つからないでしょう。この曲を初演してくれたのは、高校生たちでしたが、情熱を持って突き進もうとする若い世代に立ちのびる苦悩や困難の壁は、更に高いかもしれません。

だからこそ、『ぼくの自由から生まれてきたんだ』『…生きていることのすばらしいすごさを』『…ぼくは君らの怒りをよみがえらせる…』というフレーズを歌い、困難に立ち向かい、溢れ出るエネルギーで人生を力強く切り開いていっていただきたいと願い、作曲しました。特に、強く厳しい f の最後の響きに、こうした願いを集約しました。

(初演：金沢二水高等学校合唱部/指揮 深見 納 CD:湘南市民コール、松原混声合唱団/指揮 清水敬一)



混声合唱団 鈴優会

1992年9月22日創団。常任指揮者の名島啓太氏、アンサンブル・トレーナーの市原俊明氏のもと、常に音楽文化の発展の一助たらんことを目的とし、日常的に音楽文化と親しみ楽しみながらより質の高い音楽活動を目指している。年齢も職業も様々なメンバーが集い、レパートリーもルネサンスから現代音楽、西洋音楽から日本民謡まで幅広く取り組み、委嘱活動や新作初演なども積極的にやっている。2022年12月25日開催の第32回定期演奏会では、創団30周年を記念し、作曲家松本望氏への委嘱作品を初演予定。



名島啓太 (事前指導)

立教大学卒業。在学中に合唱指揮を始め、海外公演や新作初演、客演指揮、講習会講師、コンクール審査員、作曲など多彩な活動を展開している。また全日本合唱コンクール全国大会で金賞受賞するなど、各種コンクールで数多く入賞を果たしている。JCDA日本合唱指揮者協会理事長。北区合唱連盟理事長。北区教育文化功労賞受賞。作曲作品にミサ曲第1番「日本から」、無伴奏混声合唱のための「三つのモテット」(カワイ出版)他がある。



鈴木輝昭

Teruaki SUZUKI

1958年 仙台生まれ。桐朋学園大学作曲科を経て同大学研究科を修了。三善晃氏に師事。第46回(室内楽)および第51回(管弦楽)日本音楽コンクール作曲部門において、第1位、2位を受賞。1984年、日本交響楽振興財団第7回作曲賞。1985年および1987年旧ドイツのハンパッハ賞国際作曲コンクール、管弦楽、室内楽両部門において、それぞれ1位を受賞。以後、管弦楽作品がヨーロッパ各地で演奏、放送される。1988年、仙台において、オペラ「双子の星」(宮澤賢治原作)を初演。1990年、第16回民音現代作曲音楽祭の委嘱による、二群の混声合唱とオーケストラのための「ヒュムノス」が初演される。1991年、村松賞受賞。1994年、演奏・作曲家集団(アール・レスピラン)同人として、第12回中島健蔵音楽賞を受賞。2001年、宮城県芸術選奨受賞。同人アール・レスピラン等に所属。2007年より、邦人室内楽作品による公演(Point de Vue) (視座)を主催。日本作曲家協議会理事。2012~2017年、東京芸術大学作曲科講師を勤める。桐朋学園大学音楽学部教授。合唱作品の多くが出版、CDリリースされている。



★メッセージ

《あなた》は、1995年、東京大学コーロ・ソーン合唱団の委嘱によって作曲した混声合唱とピアノのための【もうひとつのかお】全四曲(接吻の時)〈あなた〉(もうひとつのかお)〈愛〉の第2曲目。この楽章のみ終始無伴奏で歌われる。初演当時のプログラム及び楽譜前書きから一部引用すると「ドライで都会的で、どこか切ない抒情を湛えた現代のラブソング。谷川俊太郎氏の四篇の詩に自身の裡の仄かな傷みを重ねていった…」とある。それから四半世紀を過ぎた今、《あなた》を通して若者達の中に息づく〈愛〉のリアリティを眺めつつ、Chœur Clartéの新鮮な響きに身を委ねよう。人間の尊厳が再び脅かされつつある世界で、平和の中でのみ愛を育む事は決して保障されなくなった。ひとそのものの原形に立ち還り、自己の在り方、本質に改めて向き合わなければならない。



Chœur Clarté

千葉県立幕張総合高等学校合唱団の卒業生によって2017年6月に発足。同校旧顧問の山宮篤子氏のもと、年代の異なった同窓生が集まり結成された。楽曲やテキストのもつ美しさを最大限に引き出せるよう十分に理解を深めながら、より豊かなアンサンブルを目指して活動している。山宮篤子氏の卓越した指導力によって、一体感のある合唱を作り上げている。団名の「Chœur Clarté」はフランス語で「合唱団 透明」という意。幕張総合高等学校合唱団の団歌「透明に」(詩・宗左近/曲・三善晃)から名付けられた。



山宮篤子 (事前指導)

千葉県出身。国立音楽大学教育音楽学科II類卒業、千葉大学大学院 音楽教育専攻修了。2007年より千葉県立幕張総合高等学校に勤務。同合唱団を指揮し、着任以来十年連続でNHK全国学校音楽コンクール全国コンクール出場を果たす。同大会で2012年より3年連続で金賞・内閣総理大臣賞を受賞、全日本合唱コンクール全国大会では、6年連続金賞受賞に導いた。2017年4月よりは千葉県立津田沼高校、2020年4月よりは千葉県立千葉高等学校・同附属中学校に着任し、様々な場所で活躍している。





©A.KONDO

新実徳英

Tokuhide NIIMI

東京大学工学部卒、東京藝術大学作曲科卒、同大学院修了。オペラ「白鳥」、管弦楽曲は「風神・雷神」他多数あり国内外で演奏される。「協奏的交響曲エランヴィタール」で尾高賞、他中島健蔵音楽賞、文化庁芸術祭大賞、別宮賞等。器楽、室内楽、邦楽、合唱作品等多数。詩人谷川雁との共作「白いうた青いうた」53曲、和合亮一の詩をエディットした「つぶてソング」12曲は特に広く歌われている。18年NYで開催のミュージック・フロム・ジャパン音楽祭にテーマ作曲家として招かれ新作を含む作品個展が好評を博す。桐朋学園大学院大学教授、東京音楽大学客員教授を歴任。

新実徳英オフィシャルwebサイト: <https://tokuhideniimi.com/>
最新刊「生きることが音楽！」(音楽之友社)



★メッセージ

あの震災のあと、作曲家としての自分にできることはないかと考え続け、探し続けていました。そんな時、和合亮一さんが「詩の磔」をツイッターで始められたという知らせが入りました。和合さんとは福島市制100周年記念賛歌を共作した旧知の間柄で、すぐさま連絡し、『現代詩手帖』に入稿直前のゲラをいただきました。それらを自在にエディットして歌作りをする許可をいただいて始まり2011年の4月と5月に「つぶてソング」全12曲ができ上がりました。全ての曲を自ら歌い、YouTubeにアップロードしてもらいました。いわばたった一人で始まったこの歌集を、その後混声版女声版男声版を作成しました。そうして合唱界に静かに広がっていったと思います。さて、今回はその中から「あなたはどこに」、「なぜ生きる」、「重なり合う手と手」の3曲を選びました。なぜか。それはこれらの曲が震災のあとの状況とは異なる、完全に人災というべき現在の苛酷な状況の中で、別な意味合いを持ち始めと感じたからです。そのような状況に対して、音楽に何ができるのか回答はありません。が、少なくとも苦しんでいる人々に心を寄せることはできるのです。

「あなたはどこに」ばらばらになった一人一人に優しく問いかけます。

「なぜ生きる」生きる理由を語りかけます。

「重なり合う手と手」夫と妻、恋人同士、兄弟、友人、知人…互いに心を寄せ合うその時、生きることの意味が自らの裡に形を結ぶことでしょ。

合唱団、ピアニストの皆さんと共に、これらの歌のメッセージを全身でお伝えしたいと思っています。



©StudioSymgraph

あい混声合唱団

2007年発足。指揮者・作曲家として活躍する相澤直人のもとへ集い、「作品の本質を捉え、曲が喜ぶ演奏をする」こと、「国内古今の合唱作品を魅力的に紹介する」ことを目標としている。定期演奏会の開催、学校教材の合唱音源収録の他、招聘団体としての出演も多い。これまでに東京都合唱コンクール金賞、全日本合唱コンクール全国大会銀賞などを受賞。あい混の「あい」には、一人称単数主格の「I(一人一人が主役)、和気藹々、音楽愛など、様々な意味や願いが込められている。東京都合唱連盟理事団体。



©TAKUMI JUN

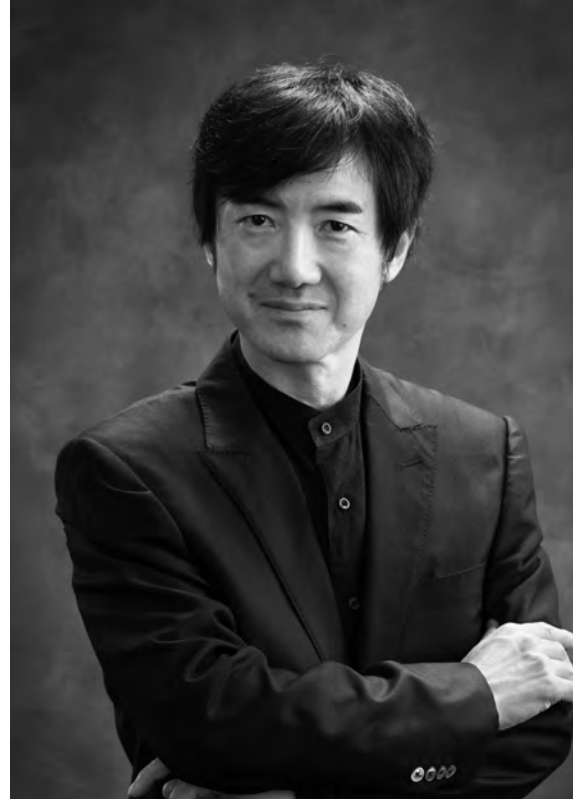
相澤直人(事前指導)

指揮者・作曲家。アイザワノーツ合同会社代表、JCDA日本合唱指揮者協会及び東京都合唱連盟副理事長。全日本合唱連盟東京支部副支部長。東京藝術大学及び洗足学園音楽大学講師。「たしかに芸術」「曲が喜ぶ演奏」をモットーとした発信は共感を呼び、「生きた楽典」「eye the 和声」など、演奏表現に活かすための各種セミナーを継続的に開催。好評を博している。現在、あい混声合唱団、女声合唱団 ゆめの在詠などの合唱団で音楽監督を務める他、東京混声合唱団、早稲田大学グリーククラブ等多くの団体に招聘される。特に、邦人作品における「ことば」と「音楽」を読み取る演奏に評価を得ており、作曲家やピアニストからの信頼も厚い。



河野紘子(Pf.)

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。「東京・春・音楽祭」などの音楽祭や、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演。声楽・器楽などとのアンサンブルに定評があり、多くのアーティストとの共演を重ねている。ソプラノ歌手小林沙羅氏のアルバムや数々の合唱団との録音、また作曲家 池辺晋一郎氏の室内楽作品集Ⅲ「さんごじゅの花」に、表題作とピアノソロ曲が収録されるなど、CD録音にも多数参加している。桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、二期会研修所ピアニストとして勤務。また「のだめカンタービレ」の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当するなど、多方面へ活動の幅を広げている。



千原英喜

Hideki CHIHARA

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。東京藝術大学芸術資料館作品買上。日本音楽コンクール作曲部門、新波の会・創作歌曲コンクール優秀賞、トリエステ国際コンクール、カール・マリア・フォン・ウェーバー作曲賞、グイード・ダレッツォ・コンクール(作曲部門)などに入賞。作品に「荘厳のコラル、愛しみのアリア」「東海道四谷怪談」「ミサ曲「日本とこしえに美しく」」「女殺油地獄」「無伴奏混声合唱版・シューベルト「冬の旅」全曲」「千原英喜 歌曲集1.2」、ピアノ曲集「さよならさんかく」「星月夜」、「ピアノと7楽器のためのコンチェルティノ<ベートヴェニアナ「明けぬ夜はない」>」など。



★メッセージ

もうじゅうぶんに知っているよ、これはこんな音楽さ、と決めてかかっている曲が、個性的で創造的なアプローチによって、あらたな命を吹き込まれたようにフレッシュにヴィヴィットに生まれ変わることがあります。僕にとっては、グールドのバッハ、アーノンクルのベートーヴェン、ブレーズのストラヴィンスキー、といったところでしょうか。同じ曲でも演奏者が変われば、指揮者が変わればこんなにも違うんだ、という驚きや目からうろこの発見。真摯に、新しく、美しく、そして面白く。今回の「おらしよII」、僕なりにユニークなものを思っていますので、みなさん、おおいに楽しみましょうね。



The Metropolitan Chorus of Tokyo

作曲家・合唱指揮者の松下耕が音楽監督・常任指揮者をつとめる合唱団で構成される『耕友会』のメンバーによる混声合同合唱団。合唱祭等への参加、学校や福祉施設への訪問演奏、CD録音、海外公演など、合唱文化の継承と保存、発展に貢献している。海外ではこれまでに2008年、2015年アメリカ、2011年に中国、2016年には韓国といずれも招聘を受けて演奏を行った。日本国際合唱作曲コンクールでは初回より授賞式での世界初演を行うなど、その活動の質の高さには定評がある。



©武藤章

松下耕(事前指導)

1962年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。卒業後、ハンガリーに渡り、合唱指揮法及び作曲法を学ぶ。作曲家として生み出している作品は、合唱曲を中心として多岐にわたり、それらの作品は国内外で広く演奏・出版されている。指揮者としても自身の合唱団を率いて世界各地の国際コンクールで優秀な成績をおさめており、現在では世界各地から音楽家として招聘されている。一般社団法人東京国際合唱機構代表理事。東京都合唱連盟理事。耕友会芸術総監督。Interkultur World Choir Council日本代表評議員。イタリア合唱指揮者協会名誉会員。神戸女学院大学特別客員教授。



JCDA

合唱の祭典2022

～第22回北とびあ合唱フェスティバル～

Staff

<製作>

JCDA日本合唱指揮者協会 名島啓太

<北とびあ制作チーム>

藤原規生(運営チーフ)・福永一博(企画・構成)・中館伸一・笹口圭吾・竹内雅拳



<事業推進開発改良プロジェクトチーム>

福永一博(リーダー)・安達陽一・笹口圭吾・清水昭・大門康彦・仁階堂孝・藤澤幸義子・藤原規生
古橋富士雄(アドバイザー)

<制作>

JCDA日本合唱指揮者協会理事会

名島啓太・相澤直人・戸崎文葉・藤原規生

浅見佳奈子・安達陽一・伊東恵司・笹口圭吾・柴山秀明・清水昭・清水敬一・大門康彦

竹内雅拳・辻秀幸・中館伸一・中村拓紀・仁階堂孝・福永一博・藤澤幸義子・松村努

大津康平・金田典子・真下洋介

古橋富士雄

<事務局>

打田のり子・合志圭子・真崎恵子・美川明菜

<協力委員>

星野隆行(音楽之友社)・早川由章(カワイ出版)

<Special Thanks!!>

堀麻理(デザイン)／竹中久典(写真)



©TAKENAKA HISANORI

JCDA 《賛助会員》御芳名

池田規久雄／(株)NHKビジネスクリエイティブ／(株)合唱の家おおば／(株)KRSカトヤ・レコーディング・サービス

ICEC国際文化交流センター／C-Pro LLC 海外公演事務局／晋友会合唱団／文化芸能国際交流機構(ジェクサ)

パナムジカ／舩の会

(敬称略)

★日本合唱指揮者協会《賛助会員》制度へのご参加のお願い!

これからも日本合唱指揮者協会は魅力ある社会作りに貢献してまいります。皆様のご理解と温かいご支援をよろしくお願い致します。

会員の特典 ◎本協会主催の演奏会にご招待致します。 ◎本協会主催の演奏会プログラムを進呈します。

◎指揮者ニュースを満載した会報等を進呈します。etc.……。 ◎詳細は事務局(電話03-3952-7207)までお問い合わせください。

JCDA 日本合唱指揮者協会

理事長 名島啓太

副理事長 相澤直人 戸崎文葉 藤原規生

理事 浅見佳奈子 安達陽一 伊東恵司 笹口圭吾

清水昭 清水敬一 柴山秀明 大門康彦

竹内雅拳 辻秀幸 中館伸一 中村拓紀

仁階堂孝 福永一博 藤澤幸義子 松村努

実行委員 大津康平 金田典子 真下洋介

監事 柏谷宏美 鈴木茂明

顧問 金澤正剛

常任相談役 古橋富士雄

相談役 浅井敬壹 松浦ゆかり

事務局長 中館伸一

事務局次長 笹口圭吾

相澤 直人	上西 一郎	川妻 干邦	佐藤 匠	大門 康彦	永 ひろこ	平林 清志	箕輪 健
赤坂 有紀	梅山 登	菊村 隆史	佐藤 洋人	高坂 良修	永井 英晴	平松 剛一	宮崎 誠二
浅井 敬壹	江川 典子	岸 信介	佐藤美紀子	高嶋 邦幸	仲子 誠一	廣石 雄司	三好 草平
浅井 順子	大久保正義	岸本 雅弘	佐藤 陽三	高野 洋子	中澤 敏子	福嶋 浩美	向井 正雄
浅沼 和志	太田 務	木下 朝滋	澤田 洋一	高橋 和子	長澤 明正	福田美知子	村田 和子
浅野 深雪	大津 康平	キハラ良尚	鹿内 芳仁	高橋 基之	中館 伸一	福田 美保	村松 賢治
浅見佳奈子	大貫 浩史	木村 裕平	志澤 彰	高嶺万喜与	中西 秀樹	福永 一博	元橋 康男
足達 勝子	大沼 ケイ	草原 哲広	雫石 環	滝沢 優子	中原 勇希	藤井 正	本山 秀毅
安達 陽一	岡本 尚子	窪田 卓	篠田 正臣	田口 恭子	中村 拓紀	藤井 宏樹	森田 悠介
阿部佳津子	岡山 和子	倉藤 理大	柴 恵子	詫磨真樹子	中村 雅夫	藤澤幸義子	森永 淳一
雨森 文也	小川 昌文	栗山 文昭	柴 郭恵	竹内 雅拳	中村 慎子	藤原 規生	森本真由美
有村 祐輔	奥田 紘治	黒川 和伸	柴田 由美	竹田 享司	名島 啓太	湖上 貴美子	柳嶋 耕太
安藤由布樹	奥寺由起子	桑原 妙子	柴山 秀明	武田 雅博	仁階堂 孝	湖上 千里	矢野としる
飯沼 京子	小黒喜代美	桑山 博	清水 昭	田代 和久	西 康之	古橋富士雄	山口 英樹
石井 幸代	尾崎あかり	小池 芳弘	清水 敬一	田中登志生	西岡 茂樹	本城 正博	山瀬 泰吾
石橋 久和	柿崎 泰裕	合田 芳弘	清水 雅彦	田中 豊輝	西牧 潤	真下 洋介	山田 緑
石橋遼太郎	掛江みどり	小濱 明	白井 智朗	田中 安茂	西本佳奈子	益田奈美子	山根 明子
石原 祐介	柏谷 宏美	小向 宏明	白崎 良治	谷口 紀子	沼丸 晴彦	松浦ゆかり	山宮 正浩
磯部 周平	片倉 淳	近藤 基	末廣 正巳	津久井 豊	野本 明裕	松下 耕	山本 哲也
市瀬 寿子	片野 秀俊	犀川 裕紀	末吉 嘉子	辻 志朗	野本 立人	松田 順子	山脇 卓也
伊東 恵司	片山みゆき	齊田 好男	須賀 敬一	辻 秀幸	橋本 剛	松田乃利子	横田 清文
伊東 剛	勝部 俊行	境 敬彦	須崎由紀子	辻村 成子	蓮沼 喜文	松永沙耶香	横山 琢哉
井戸 清輔	加藤 雅子	阪本 健悟	鈴木 和江	辻村 美保	長谷川冴子	松村 努	吉田 公子
田舎片雄貴	金川 明裕	坂本 恒太	鈴木 茂明	土屋奈津子	長谷部律子	間谷 勇	吉田孝古磨
井上 慧	蟹江 春香	坂本 雅代	鈴木 成夫	寺澤 直樹	初村 則子	丸山 恵子	吉田千鶴子
今井 学	金子 央	佐古 宜道	鈴木 康夫	当麻 礼子	早川 幹雄	三浦 彰	吉野恵美子
岩崎 洋一	金田 典子	笹口 圭吾	須藤 和子	戸崎 裕子	林 擴子	三浦真理子	依田 浩
岩田 正彦	辛川 容子	笹倉 強	関根 裕子	戸崎 文葉	原田 昌江	三木 公子	渡辺 佳代
岩本 達明	川上 勝功	里井 宏次	芹澤 卓弥	外山 浩爾	樋本 英一	南方 隼紀	渡辺 公男
岩本 徳	川崎有希子	佐藤 貴司	曾田 俊和	内藤 裕史	平井 保	湊 晋吾	渡辺 宏子

